

アミハイ・グロス
[ヴァイオリン]

檜本大進
[第1ヴァイオリン]

〈Program〉

フーゴ・カウン:八重奏曲
Hugo Kaun: Octet in F, op.34

細川俊夫:八重奏曲(委嘱新作)
Toshio Hosokawa: Octet
(new piece for Philharmonic Octet Berlin)

フランツ・シューベルト:八重奏曲 D803
Schubert: Octet in F major, D803

クリストフ・
イゲルブリンク
[チェロ]

モル・ピロン
[ファゴット]

選ばれし8人 頂点のハーモニー

ベルリン・フィル 八重奏団

シュテファン・ドール
[ホルン]

エスコ・ライネ
[コントラバス]

ヴェンツェル・フックス
[クラリネット]

ロマーノ・トマシーニ
[第2ヴァイオリン]

2020.5/26(火) 19:00開演
[18:20開場/21:00終演予定]

サントリーホール 東京メトロ溜池山王駅13番出口徒歩10分
東京メトロ六本木一丁目駅3番出口徒歩5分

7:00p.m., Tuesday, May 26, 2020 at Suntory Hall

[チケット料金] S¥9,000/A¥7,500/B¥6,000/C¥4,500

(ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金 S¥8,100/A¥6,700/B¥5,400/C¥4,000)

2020.5/30(土) 17:00開演
[16:30開場/19:00終演予定]

横浜みなとみらいホール 東横線=みなとみらい線
「みなとみらい」駅徒歩3分

5:00p.m., Saturday, May 30, 2020 at Yokohama Minato Mirai Hall

[チケット料金] S¥9,000/A¥7,000/B¥5,000

(ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金 S¥8,100/A¥6,300/B¥4,500)

※料金には消費税が含まれております。※夢倶楽部会員等の先行発売で満席になった席種は、以降発売されない場合がございます。学生及び特別料金については裏面をご覧ください。

〈ジャパン・アーツ夢倶楽部会員〉WEB:11/16(土) TEL:11/17(日)

〈ジャパン・アーツぴあネット会員〉11/21(木)

【お申込み】

ジャパン・アーツぴあ

0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/

神奈川芸術協会 (5/30横浜公演のみ)

045-453-5080 www.kanagawa-geikyo.com

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999

[Pコード:167-888(5/26東京公演)、168-072(5/30横浜公演)]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-000-407

[Lコード:34512(5/26東京公演)、34749(5/30横浜公演)]

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (5/26東京公演のみ)

横浜みなとみらいホールチケットセンター

045-682-2000 <http://minatomirai.pia.jp/> (5/30横浜公演のみ)

主催:ジャパン・アーツ/神奈川芸術協会

協力:ウイステリア・プロジェクト

横浜みなとみらいホール(5/30横浜公演のみ)

後援:ドイツ連邦共和国大使館

11/23
(土・祝)
前売開始



ベルリン・フィルの縮図 —共に呼応し、 生き生きと響く “八重奏”の魅力

満津岡信育(音楽評論)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる室内楽のグループの中でも、とりわけ長い歴史を誇るベルリン・フィル八重奏団は、その母体となる名門楽団の“現在”を、いわば濃縮した形のアンサンブルである。2013年には、第1ヴァイオリンに榎本大進、ヴィオラにグロス、ホルンにドール、ファゴットにビロンが加わり、翌14年および2017年の来日公演で鮮やかな名演を繰り広げたのは、記憶に新しいところだ。

インターナショナル化が進んだベルリン・フィルの姿を反映するかのように、さまざまな出自を持つメンバーの共通点と言えば、高度なテクニックと鋭敏な音楽性を兼ね備えている点であり、名門楽団の一員であるという事実である。そして、普段は、指揮者の要求に献身的に応えていくメンバーたちが、室内楽をこよなく愛する榎本大進を中心に、共に呼応し合いながら、生き生きと響きを形づくっていく演奏は、じつに魅力的であるとしか書きようがない。

今回のメインの演目は、当八重奏団の名刺代わりの1曲であるシューベルトの「八重奏曲」。シューベルト特有の歌の魅力と豊かな詩情に加え、精妙なアンサンブルの技と絶妙な会話の妙が、満喫できることだろう。また、日本公演の直前にあたる2020年5月18日に、ベルリンのフィルハーモニー室内楽ホールで世界初演が予定されている細川俊夫への委嘱新作(注)が、日本初演される点も見逃せないポイントだ。さらに、フーゴ・カウン(1863～1932)の「八重奏曲」は、榎本大進が気に入って当ツアー用に提案し、全員一致で採択した楽曲である。ベルリンで生まれ、同地で没したカウンは、アメリカのミルウォーキーでも活躍した作曲家であり、19世紀末に書かれた「八重奏曲」は、ロマンティックな佳曲である。従って、全ての演奏曲目が、オリジナルの八重奏曲であるという点も、大きな特徴になっている。まさに、現在の“ベルリンの風”を肌で感じ取ることができるコンサートになることだろう。

(注)ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団財団とジャパン・アーツによるベルリン・フィル八重奏団のための委嘱

ベルリン・フィル八重奏団 PHILHARMONIC OCTET BERLIN

ベルリン・フィル八重奏団は、結成から80年以上という、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーが組織する室内楽アンサンブルの中で、もっとも長い歴史と伝統を持つ団体のひとつである。その歴史は、1928年、8人の楽員たちがシューベルトの八重奏曲を演奏するために集まったところから始まった。メンバーは現在に至るまで、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップ奏者および世界第一級の演奏家によって構成されており、ヨーロッパをはじめ、世界の諸都市で演奏活動を行なっている。当初はヨーロッパを中心に活動していたが1954年、初めて7週間の南米ツアーを行い、この頃から始まったアメリカ合衆国、カナダへの再三にわたる演奏旅行で成功をおさめた。その後、アフリカ、韓国、中国、マレーシア、ニュージーランド、オーストラリア、旧ソ連、イスラエルなどの各国や、ザルツブルク、ルツェルン、エディンバラ、ベルリンなどの国際音楽祭にも度々招かれ、日本には1957年の初来日以後、定期的に来日している。また、1982年には、ベルリン・フィルの創立100周年記念演奏会にも参加した。レパートリーは、ウィーン古典派からロマン派の音楽を中心に幅広く、この編成ならではの編曲作品も含まれている。また1958年、ヒンデミットがこの八重奏団のために八重奏曲を作曲し、自らヴィオラを担当して歴史的初演を行ったのをはじめ、ヘンツェ、ブラッハー、テールヒェン、シュトックハウゼン、イサン・ユンなどの著名現代作曲家が、彼らのために作品を残している。

エスコ・ライネ(コントラバス)

Esko Laine, Contrabass
1961年ヘルシンキ生まれ。18歳でフィンランド国立歌劇場管弦楽団のメンバーとなった。1999年から2001年までベルリン・フィル首席コントラバス奏者を務め、2008年より再びこの任にある。ソリストとしても演奏している。

ヴェンツェル・フックス(クラリネット)

Wenzel Fuchs, Clarinet
オーストリアに生まれ、ベーター・シュミードルに師事。ウィーンで学んだ後、1993年からベルリン・フィルの首席クラリネット奏者となった珍しい経歴の持ち主。名手ライスターの後を継ぎ、類い稀な美音で世界中の奏者、聴衆から注目を浴びている。

榎本大進(第1ヴァイオリン)

Daishin Kashimoto, 1st Violin
ロンドン生まれ。1996年のフリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーでの1位ほか、5つの権威ある国際コンクールで優勝。2010年ベルリン・フィル第1コンサートマスターに就任。2007年からは「ル・ボン国際音楽祭～赤穂・姫路」の音楽監督も務める。

アミハイ・グロス(ヴィオラ)

Amihai Grosz, Viola
1979年イスラエル生まれ。デイヴィッド・チェン、タベア・ツィマーマン、ハイム・タウブに師事。エルサレム弦楽四重奏団の創立メンバー。2010年に第1ヴァイオリン奏者としてベルリン・フィルに入団。ガスパール・ダ・サロの1570年製のヴィオラを生涯を通じて賞与されている。

シュテファン・ドール(ホルン)

Stefan Dohr, Horn
エッセンとケルンで学び、フランクフルト歌劇場管、ベルリン・ドイツ響のソロ・ホルン奏者を経て、1993年ベルリン・フィルの首席ホルン奏者となる。変幻自在の音色と表現力を持つ稀代の名手にして、世界最高のホルン奏者の1人。
<http://www.StefanDohr.com>

ロマーノ・トマシーニ(第2ヴァイオリン)

Romano Tommasini, 2nd Violin
イタリア人の両親のもと、ルクセンブルクとフランスで育った。パリで音楽教育を受け、1986年よりナンシー管弦楽団の第1ソロ・ヴァイオリン奏者を務めた後、1989年にベルリン・フィルの一員となった。

クリストフ・イゲルブリック(チェロ)

Christoph Igelbrink, Cello
1958年デュッセルドルフ生まれ。1986年にハンブルク・フィルに入団し、1989年ベルリン・フィルのメンバーとなった。ベルリン・フィル12人のチェリストたち、ブラムス・アンサンブル・ベルリンのメンバーとしても活動している。

モル・ビロン(ファゴット)

Mor Biron, Fagott
1982年イスラエル生まれ。ガッド・レーダーマン、マウリツィオ・ベッツ、クラウス・トゥーネマン、フォルカー・テスマンに師事。ソフィア王妃芸術館管などで活躍後、2007年ベルリン・フィルに入団。室内楽での積極的な活動のほか、バレンボイム・サイド・アカデミーで指導も行う。

特別割引チケット

WEBジャパン・アーツびあ、およびジャパン・アーツびあコールセンターで受付(横浜公演のみ神奈川芸術協会でも受付)

- ◎学生席 全席指定一律3,000円。社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。残券がある場合、2/1(土)10:00より受付を開始いたします。公演当日、入口で学生証を拝見いたします(学生証がない場合は一般料金との差額を頂戴する場合がございます。ジャパン・アーツ夢倶楽部会員で学生の方も、学生席は一律3,000円です)。(横浜公演は神奈川芸術協会のみで受付)
- ◎シニア割引 65歳以上の方はS、Aランク会員料金でお求めいただけます。
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前に御予約ください。(東京公演はジャパン・アーツびあコールセンターのみ、横浜公演は神奈川芸術協会のみで受付)

[次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。] ①やむを得ない事情で曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。②いかなる場合も再発行はできません。紛失等に十分ご注意ください。③開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕を持ってお越し下さい。④ご入場には一人1枚チケットが必要ですが、未就学児の入場はご遠慮ください。⑤本公演はすべて指定席です。お持ちのチケット以外の座席ではご鑑賞いただけません。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧お席によっては舞台が見切れる場合がございます。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。

Twitterで
フォローする
@japan_arts

榎本大進含む新体制で十八番のシューベルトを19年ぶりに録音！ シューベルト：八重奏曲／ベルリン・フィル八重奏団



この曲はとても美しい。それが私たちの存在理由です。



BPOC-0001 ¥3,000(税別)
【演奏】ベルリン・フィル八重奏団
榎本大進(第1ヴァイオリン)
ロマーノ・トマシーニ(第2ヴァイオリン)
アミハイ・グロス(ヴィオラ)
クリストフ・イゲルブリック(チェロ)
エスコ・ライネ(コントラバス)
ヴェンツェル・フックス(クラリネット)
シュテファン・ドール(ホルン)
モル・ビロン(ファゴット)

【録音】2017年1月
東京オペラシティ・コンサートホール
レコーディング・プロデューサー
クリストフ・フランケ



Philharmonic Octet Berlin

<http://octet.wisteriaproject.com/>

【制作・発売】ウイステリアプロジェクト
【販売】ソニー・ミュージックソリューションズ